

**製品名: CBX5 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81595**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	22.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CBX5
別名	HP1; HP1A; HEL25
遺伝子 ID	23468.0
SwissProt ID	P45973
免疫原	大腸菌で発現したヒト CBX5 (AA:1-191) の精製された組み換え断片。

**背景**

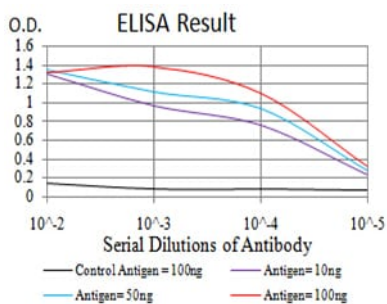
この遺伝子は、ヘテロクロマチンタンパク質ファミリーに属する、高度に保存された非ヒストンタンパク質をコードしています。このタンパク質はヘテロクロマチンに豊富に存在し、セントロメアと関連しています。このタンパク質は、メチル化リジン残基を介し

てヒストンタンパク質に結合できる単一の N 末端クロモドメインと、多数のクロマチン関連非ヒストンタンパク質とのホモ二量体形成および相互作用を担う C 末端クロモシャドウドメイン (CSD) を有しています。コードされる産物は、必須のキネトコアタンパク質との相互作用を介して、機能的なキネトコアの形成に関与しています。この遺伝子には、3 番染色体に位置する偽遺伝子があります。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエントが同定されています。

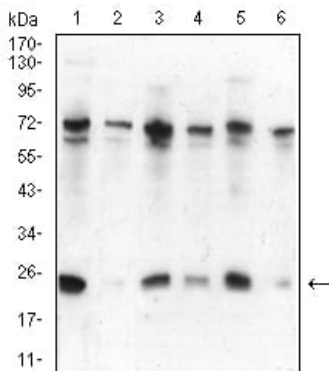
## 研究分野

-

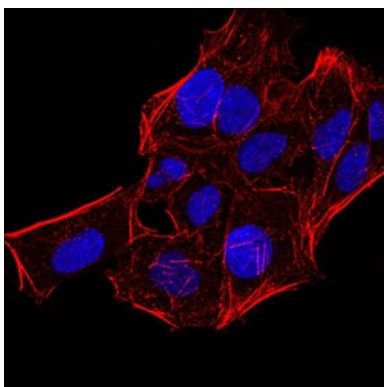
## 画像データ



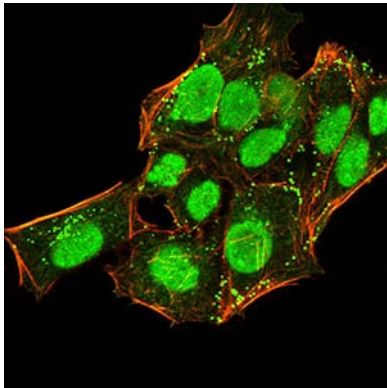
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



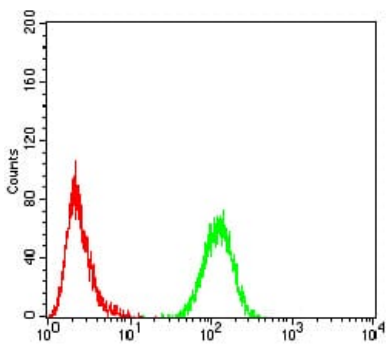
Hela (1)、NIH/3T3 (2)、K562 (3)、MCF-7 (4)、Jurkat (5)、および A431 (6) 細胞溶解物に対する CBX5 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



CBX5 マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



CBX5 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CBX5 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。